

算定基礎届の記入・提出ガイドブック

令和4年度

健康保険および厚生年金保険の被保険者の実際の報酬と標準報酬月額との間に大きな差が生じないように、7月1日現在で使用している全ての被保険者に4～6月に支払った賃金を、事業主の方から「算定基礎届」によって届出いただき、厚生労働大臣は、この届出内容に基づき、毎年1回標準報酬月額を決定します。これを定時決定といいます。

「算定基礎届」により決定された標準報酬月額は、原則1年間（9月から翌年8月まで）の各月に適用され、納めていただく保険料の計算や将来受け取る年金額等の計算の基礎となります。

《目次》

1. 算定基礎届の提出について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

- (1) 提出期間等
- (2) ご提出いただくもの
- (3) 提出の対象となる被保険者の範囲
- (4) 8月または9月の随時改定に該当する場合
- (5) 二以上の事業所に勤務する方の届出
- (6) 短時間就労者（パートタイマー）とは
- (7) 短時間労働者とは
- (8) 被保険者本人への通知
- (9) その他

2. 報酬とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

- (1) 報酬とは
- (2) 現物給与の取り扱い

3. 標準報酬月額の算出方法および算定基礎届の記入方法・・・・・・・・・・・・・4

- (1) 支払基礎日数
- (2) ケースごとの標準報酬月額の算出方法と算定基礎届の記入方法
 - (ケース①) 一般的な例
 - (ケース②) 支払基礎日数に17日未満の月があるとき
 - (ケース③) 短時間就労者（パートタイマー）の記入例
 - (ケース④) 短時間労働者の記入例
 - (ケース⑤) 給与の支払対象となる期間の途中から入社したとき
 - (ケース⑥) 賞与などが年4回以上支給されたとき
 - (ケース⑦) 一時帰休による休業手当が支給されているとき
 - (ケース⑧) 一般的な方法では算定できないとき
 - (ケース⑨) 一般的な方法で算定すると著しく不当になるとき

4. 随時改定と月額変更届・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

- (1) 月額変更が必要なとき
- (2) 固定的賃金の変動とは
- (3) 随時改定の対象とならない場合

月額変更届の記入例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

5. 賞与支払届・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

- (1) 標準賞与額の対象となる賞与
- (2) 標準賞与額とは

算定基礎届（定時決定）におけるよくあるご質問と回答・・・・・・・・23

厚生労働大臣が定める現物給与の価額・・・・・・・・・・・・・・・・31

令和2年9月分からの厚生年金保険料額表・・・・・・・・・・・・32

従業員数500人以下の事業主のみなさまへ・・・・・・・・・・・・33

1. 算定基礎届の提出について

(1) 提出期間等

提出期間：7月1日（金）から7月11日（月）まで

提出先：算定基礎届送付時に同封している返信用封筒により事務センターへ郵送

または管轄の年金事務所担当窓口

照会先：管轄の年金事務所

(2) ご提出いただくもの

※ 令和3年度から「被保険者報酬月額算定基礎届総括表」を廃止しましたので、提出は不要です。

① 「届出用紙」で提出する場合

ア 被保険者報酬月額算定基礎届（70歳以上被用者算定基礎届）

《該当する方がいる場合は、次の届書も必要になります。》

イ 被保険者報酬月額変更届（70歳以上被用者月額変更届）【7月改定者】

○ ご不明な点がありましたら、日本年金機構ホームページ（<https://www.nenkin.go.jp/>）をご確認ください。

② 「電子媒体（CD・DVD）」で提出する場合

ア CDまたはDVD

イ 電子媒体届書総括票

《該当する方がいる場合は、次の届書も必要になります。》

ウ 被保険者報酬月額変更届（70歳以上被用者月額変更届）【7月改定者】

○ 提出する電子媒体を作成するためには、日本年金機構ホームページから「届書作成プログラム」をダウンロードする必要があります。

○ イは、届出用紙によりご提出ください。

○ 提出の際、CD・DVDの表面に、「事業所名」、「提出元ID」、「媒体通番」を油性のフエルトペン等でご記入ください。

○ 電子媒体を利用した届出について、届出用紙での提出の場合と一部入力方法が異なります。ご不明な点がありましたら、日本年金機構ホームページ

（<https://www.nenkin.go.jp/denshibenri/denshibaitai/index.html>）をご確認ください。

③ 「電子申請」で提出する場合

ア 被保険者報酬月額算定基礎届（70歳以上被用者算定基礎届）＜CSVファイル添付方式＞

《該当する方がいる場合は、次の届書も必要になります。》

イ 被保険者報酬月額変更届（70歳以上被用者月額変更届）【7月改定者】

- 電子申請の詳細については、日本年金機構ホームページのほか電子政府の総合窓口 e-Gov〔イーガブ〕(<https://www.e-gov.go.jp/>) をご確認ください。
- 電子申請による届出について、届出用紙での提出の場合と一部入力方法が異なります。ご不明な点がありましたら、日本年金機構ホームページ(<https://www.nenkin.go.jp/denshibenri/e-gov.html>) をご確認ください。

(3) 提出の対象となる被保険者の範囲

7月1日現在の全ての被保険者が、定時決定（算定基礎届）の対象となりますが、以下の

①～④のいずれかに該当する方は算定基礎届の提出が不要です。

①6月1日以降に資格取得した方

②6月30日以前に退職した方

③7月改定の月額変更届を提出する方

④8月または9月に随時改定が予定されている旨の申出を行った方

- ・上記③および④の方については、算定基礎届の報酬月額欄を記入せず、空欄とした上で、備考欄「3. 月額変更予定」を○で囲んでください。

- ・電子媒体申請および電子申請の場合は、上記③および④の対象者を除いて作成してください。

- ・上記④の方について、随時改定の要件に該当しないことが判明した場合は、速やかに算定基礎届をご提出ください。

(4) 8月または9月の随時改定に該当する場合

8月または9月の随時改定に該当した方については、随時改定が優先されますので、別途「月額変更届」の提出が必要となります。

(5) 二以上の事業所に勤務する方の届出

同時に二以上の事業所に勤務する方の標準報酬月額、各事業所から受ける報酬を合算して決定されます。また、各事業所における保険料は、各事業所から受ける報酬の割合により按分して計算されます。

二以上の事業所に勤務する方の算定基礎届は、選択事業所を管轄する事務センターから各事業所に送付します。送付された算定基礎届は、選択事業所を管轄する事務センターに提出いただくこととなりますのでご注意ください。

(6) 短時間就労者（パートタイマー）とは

1 週間の所定労働時間および1 カ月の所定労働日数が、通常の労働者と比較して4 分の3 以上である被保険者のことです。

(7) 短時間労働者とは

1 週間の所定労働時間が通常の労働者の4 分の3 未満、1 カ月の所定労働日数が通常の労働者の4 分の3 未満、またはその両方の場合で、次の要件を全て満たす方が該当になります。

- ①週の所定労働時間が20時間以上あること
- ②雇用期間が1年以上見込まれること(※)
- ③賃金の月額が8.8万円以上であること
- ④学生でないこと
- ⑤特定適用事業所または国・地方公共団体に属する事業所に勤めていること

※制度改正により本要件は撤廃され、令和4年10月からは通常の労働者と区分なく「雇用期間が2ヵ月を超えて見込まれること」が要件となります。

- 短時間労働者の適用要件については、日本年金機構ホームページ
(<https://www.nenkin.go.jp/oshirase/topics/2021/0219.html>) をご確認ください。

(8) 被保険者本人への通知

決定された標準報酬月額の内容については、日本年金機構からの通知の後、すみやかに被保険者本人あて通知していただくようお願いいたします。

(9) その他

- 年金事務所では、事業所を対象に関係書類をご用意いただき、定期的に調査を実施しています。調査の実施にあたりましては、対象となる事業所に対して事前に書面でご案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。

- 70歳以上の方で、算定基礎届に2項目（2人分）表示される場合
70歳以降に資格を取得した方の場合、日本年金機構から送付する算定基礎届では、2つ（2人分）の項目に表示されます。これは、健康保険被保険者と厚生年金保険70歳以上被用者についてそれぞれの欄に表示しているものです。被保険者整理番号と基礎年金番号により同一の方であることを確認し、それぞれの項目に必要事項を記入いただくか、または1つの項目を斜線で抹消し、もう1つの項目に必要事項を記入いただくか、いずれかの方法によりご提出ください。

※70歳前から資格を取得している方の場合は、1項目で表示されます。

2. 報酬とは

(1) 報酬とは

標準報酬月額の対象となる報酬とは、賃金、給料、俸給、手当、賞などの名称を問わず、労働者が労働の対償として受ける全てのものを含みます。また、金銭（通貨）に限らず、通勤定期券、食事、住宅など現物で支給されるものも報酬に含まれます。ただし、臨時に受けるものや、年3回以下支給の賞与（※）などは、報酬に含まれません。

	金銭（通貨）で支給されるもの	現物で支給されるもの
報酬となるもの	基本給（月給・週給・日給など）、能率給、奨励給、役付手当、職階手当、特別勤務手当、勤務地手当、物師手当、日直手当、宿直手当、家族手当、扶養手当、休職手当、通勤手当、住宅手当、別居手当、早出残業手当、継続支給する見舞金、年4回以上の	通勤定期券、回数券、食事、食券、社宅、寮、被服（勤務服でないもの）、自社製品など

	賞与（※） など	
報酬とならないもの	大入袋、見舞金、解雇予告手当、退職手当、出張旅費、交際費、慶弔費、傷病手当金、労災保険の休業補償給付、年3回以下の賞与（※） など	制服、作業着（業務に要するものの）、見舞品、食事（本人の負担額が、厚生労働大臣が定める価額により算定した額の2/3以上の場合） など

（※）年3回以下支給される賞与は標準賞与額の対象になります。

(2) 現物給与の取り扱い

①通勤定期券等

通勤手当を、金銭ではなく定期券や回数券で支給している場合は、現物給与として取り扱われますので、その全額を報酬として算入します。3ヵ月または6ヵ月単位でまとめて支給する通勤定期券は、1ヵ月あたりの額を算出して報酬とします。

②食事で支払われる報酬等

事業主が被保険者に食事を支給している場合は、都道府県ごとに厚生労働大臣が定める価額に換算して報酬を算入します。

その一部を被保険者本人が負担している場合は、上記価額から本人負担分を差引いた額を報酬として算入します。ただし、被保険者が当該価額の2/3以上を負担する場合は報酬に算入しません。

③住宅で支払われる報酬等

事業主が被保険者に社宅や寮を提供している場合は、都道府県ごとに厚生労働大臣が定める価額に換算して報酬を算入します。その一部を被保険者本人が負担している場合は、厚生労働大臣が定める価額から本人負担分を差引いた額を算入します。

価額を算出する場合は、居間、茶の間、寝室、客間等、居住用の室を対象とします。玄関、台所、トイレ、浴室、営業用の室（店、事務室等）等は含めません。

④食事および住宅以外の報酬等

食事および住宅以外の報酬等の価額について、労働協約に定めがある場合は、その価額を「時価」として取り扱いますが、労働協約に定めがない場合には実際費用を「時価」として取り扱います。

3. 標準報酬月額額の算出方法および算定基礎届の記入方法

(1) 支払基礎日数

支払基礎日数とは、その報酬の支払い対象となった日数のことをいいます。

時給制・日給制の場合は、実際の出勤日数（有給休暇も含みます。）が支払基礎日数となります。

月給制・週給制の場合は、出勤日数に関係なく暦日数になります。

ただし、欠勤日数分だけ給料が差し引かれる場合は、就業規則、給与規程等に基づき事業所が定めた日数から、欠勤日数を控除した日数となります。

◎算定基礎届は4、5、6月に支払われた給与を報酬月額として届出しますが、給与計算の締切日と支払日の関係によって支払基礎日数が異なります。

(例) 月給制の場合

給与末日締 当月末日支払

月	暦日	支払基礎 日数
4月	4月1日～30日	30
5月	5月1日～31日	31
6月	6月1日～30日	30

給与25日締
当月末日支払

月	暦日	支払基礎 日数
4月	3月26日～4月25日	31
5月	4月26日～5月25日	30
6月	5月26日～6月25日	31

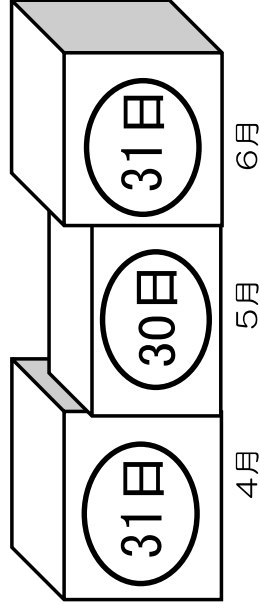
給与末日締翌月10日支払

月	暦日	支払基礎 日数
4月	3月1日～31日	31
5月	4月1日～30日	30
6月	5月1日～31日	31

(2) ケースごとの標準報酬月額と算定基礎届の記入方法

ケース① 一般的な例

●支払基礎日数が3ヵ月とも17日以上の場合 ⇒ 3ヵ月が対象となります。



月給制・毎月20日締切、当月25日支払

4月、5月、6月に支払われた給与の合計額を、その月数「3」で割った額が報酬月額になります。

《金瓶梅》

月	支払基礎日数	基本給	家族手当	住宅手当	通勤手当	合計
4月	31日	610,000	20,000	30,000	11,000	671,000
5月	30日	610,000	20,000	30,000	11,000	671,000
6月	31日	610,000	20,000	30,000	11,000	671,000
※算定基礎届には、4月、5月、6月に支払われた給与の額を記入します。					総計	2,013,000

※算定基礎届には、4月、5月、6月に支払われた給与の額を記入します。

(単位: 円)

その報酬の支払対象となった日数を記入します。

算定対象月の合計額を記入します。

算定対象月の1ヵ月あたりの平均額を記入します。

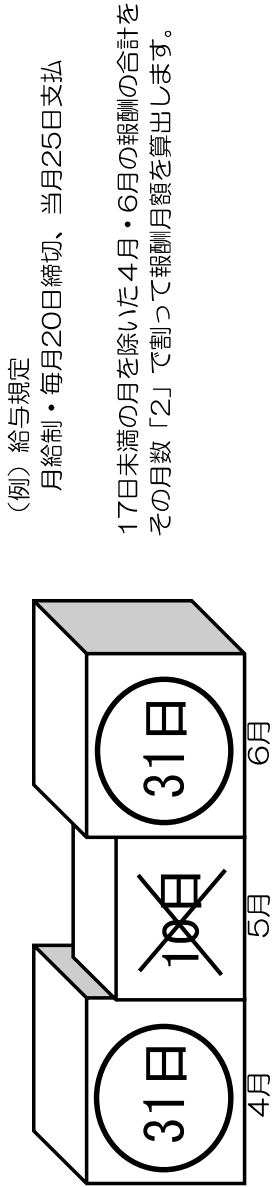
[illegible]

辛酉州月客直 = (671,000円 + 671,000円 + 671,000円) ÷ 3 = 671,000円

※：算盤の数字は、1円未満は切り捨てとし、1円未満は切り切りである。

ケース② 支払基礎日数に17日未満の月があるとき

●支払基礎日数に17日未満の月がある場合 ⇒ 支払基礎日数が17以上の月を対象とします。



《賃金台帳》 (単位：円)

月	支払基礎日数	基本給	住宅手当	通勤手当	残業手当	昼食	合計
4月	31日	242,000	5,000	8,000	12,000	4,000	271,000
5月	10日	110,000	5,000	8,000	0	1,000	124,000
6月	31日	242,000	5,000	8,000	5,000	4,000	264,000
総計							659,000

《記入例》

4月、6月分の2ヵ月分の
合計を記入します。

項目名	① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	④ 用年月	⑤ 収入額	⑥ 収入番号(基礎年金番号)
1	23	年金 太郎	5-510527	令和4年9月	535,000	10 備考
5	240	厚 240	R3年9月	令和4年9月	535,000	10 備考
9	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
10	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
11	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
12	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
13	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
14	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
15	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
16	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
17	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
18	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
19	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
20	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
21	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
22	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
23	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
24	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
25	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
26	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
27	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
28	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
29	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
30	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考
31	4	31	10 日数	令和4年9月	535,000	10 備考

現物による給与がある場合はここに記入します。

4月、6月分の平均
を記入します。

報酬月額 = (271,000円 + 264,000円) ÷ 2 = 267,500円

※ 17日未満の月が2ヵ月ある場合は、残りの1ヵ月（17日以上）のみの報酬で算出します。

ケース③ 短時間就労者（パートタイマー）の記入例

- 支払基礎日数が17日以上の場合
⇒支払基礎日数が17以上の月を対象とします。

《金瓶梅》

月	支払基礎日数	基本給	合計
4月	14日	108,600	108,600
5月	16日	115,800	115,800
6月	18日	130,300	130,300
□		総計	354,700



《記入例》

① 被保険者管理番号		② 被保険者氏名		③ 生年月日	④ 適用年月	① 個人番号(国民年金番号) ※70歳以上常用者の場合のみ
⑤ 従前の標準報酬月額		⑥ 従前改定月		⑦ 課(徴)額	⑧ 課及支払額	「7パート」を○で
⑨ 給与 支給月	⑩ 給与計算の 基準日数	⑪ 報酬月額		⑫ 合計(⑩+⑪)	⑬ 平均額	
⑭ 給与によるもの額		⑮ 課税によるもの額		⑯ 合計(⑭+⑮)	⑰ 修正平均額	
⑱ 標準報酬月額		⑲ 課税額		⑳ 令和4年9月	㉑ 修正平均額	
①	22	② 事務 香		③ 5-350427	④	① 1. 70歳以上 (確定基礎 月額) 月 月) 2. 二以上 月額) 月 月) 3. 5. 療休・育休・休職等 月額) 月 月) 4. 途中入社 月額) 月 月) 5. 短期間労働 (特定適用事業所等) 月額) 月 月) 6. パート 月額) 月 月) 7. その他 ()
⑤ 健 118 厚 118	⑥ R3年9月	⑦ 課税額 1. 昇給 月 月 2. 降格 月 月		⑧ 課及支払額	⑨ 令和4年9月	
⑩ 支払月 ⑪ 日数	⑫ 通算 108,600	⑬ 課税 108,600	⑭ 合計(⑩+⑫)	⑮ 課税 108,600	⑯ 令和4年9月	
4 月 14 日	108,600	108,600	0	108,600	130,300	
5 月 16 日	115,800	115,800	0	115,800	130,300	
6 月 18 日	130,300	130,300	0	130,300	130,300	

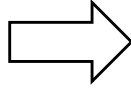
6月分のみ記入します。

辛酉月額 = 130,300円 (6月分)

- 支払基礎日数がすべて17日未満だが15、16日の月がある場合
⇒支払基礎日数が15、16日の月のみを対象とします。

《金瓶梅》

月	支払基礎日数	基本給	合計
4月	12日	78,000	78,000
5月	15日	97,500	97,500
6月	16日	104,000	104,000
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-right: 10px;"></div> <div> 総計 279,500 </div> </div>			



《記入例》

項目名		① 被保険者管理番号	② 被保険者氏名		③ 従前の標準報酬月額	④ 従前改定月	⑤ 昇(降)給	⑥ 期及支払額	⑦ 備考
⑧ 給与支払の 支給月日		⑨ 給与計算の 基礎日数		⑩ 標準によるもの額		⑪ 合計(⑩+⑬)		⑫ 平均額	⑬ 修正平均額
①	健 53	② 保険 健二		③ 5-590628	④ 令和4年9月			⑤ 遡及支払額	
⑤	健 104	⑥ R3年9月		⑦ 昇(降)給	⑧ 遡及支払額			⑨ 遡及支払額	
⑨ 支払月	⑩ 日数	⑪ 通賃		⑫ 現物	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額	
4 月	12 日	78,000 円		0 円	78,000 円	201,500 円			
5 月	15 日	97,500 円		0 円	97,500 円	100,750 円			
6 月	16 日	104,000 円		0 円	104,000 円				

5月、6月の2ヵ月分の合計を記入します。

70歳以上等用者決定
(特定標準月： 月 月)

2. 二以上勤務 3. 月額変更予定 4. 途中入社 5. 病休・育休・伏見等
6. 短期間の勤務 (特定適用事務所等)
⑦ パート 8. 年間平均 9. その他 ()

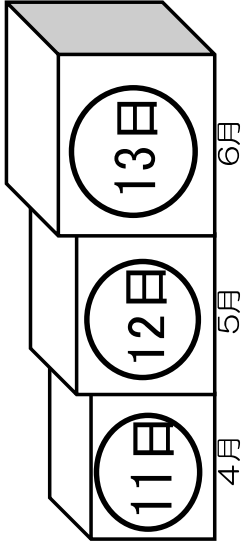
$$\text{報州月額} = (97,500\text{円} + 104,000\text{円}) \div 2 = 100,750\text{円}$$

ケース④ 短時間労働者の記入例

- 支払基礎日数が3ヵ月とも11日以上の場合
⇒3ヵ月が対象となります。

《賃金台帳》

月	支払基礎日数	基本給	合計
4月	11日	108,600	108,600
5月	12日	115,800	115,800
6月	13日	123,000	123,000
		総計	347,400



「6. 短時間労働者」を○で囲みます。

《記入例》

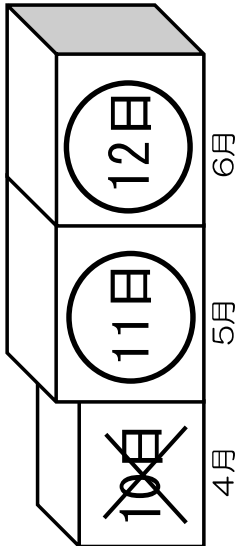
項目名	① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	④ 適用年月	⑤ 適用月額	⑥ 短時間労働者	⑦ 70歳以上被用者の場合のみ
1	⑤ 従前の標準報酬月額	⑥ 従前改定月	⑦ 昇(降)給	⑧ 適用月額	⑨ 平均額	⑩ 修正平均額	⑪ 個人番号
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ

報酬月額 = (108,600円 + 115,800円 + 123,000円) ÷ 3 = 115,800円

- 支払基礎日数に11日未満の月がある場合
⇒支払基礎日数が11以上の月を対象とします。

《賃金台帳》

月	支払基礎日数	基本給	合計
4月	10日	101,400	101,400
5月	11日	108,600	108,600
6月	12日	115,800	115,800
		総計	325,800



《記入例》

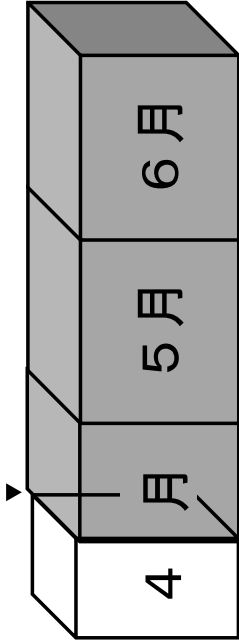
項目名	① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	④ 適用年月	⑤ 適用月額	⑥ 短時間労働者	⑦ 70歳以上被用者の場合のみ
1	⑤ 従前の標準報酬月額	⑥ 従前改定月	⑦ 昇(降)給	⑧ 適用月額	⑨ 平均額	⑩ 修正平均額	⑪ 個人番号
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ
	⑨ 給与計算の基礎日数	⑩ 適用によるもの額	⑪ 合計(⑨+⑩)	⑫ 令和4年9月	⑬ 総計	⑭ 平均額	⑮ 70歳以上被用者の場合のみ

報酬月額 = (108,600円 + 115,800円) ÷ 2 = 112,200円

ケース⑤ 給与の支払対象となる期間の途中から入社したとき

- 給与の支払対象となる期間の途中から資格取得したことにより1ヵ月分の給与が支給されない場合
⇒1ヵ月分の給与が支給されない月（途中入社月）を除いた月を対象とします。

4月途中入社



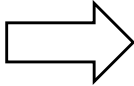
(例) 4月1日入社

毎月20日締切、翌月10日支払

4月分の給与は、日割計算になり、1ヵ月の給与が支給されないため、その月を除いた月で報酬月額を算出します。

《賞金台帳》

(単位：円)			
月	支払基礎日数	基本給	合計
4月			
5月	20日	148,000	148,000
6月	30日	200,000	200,000
総計			348,000



《記入例》

項目名	① 被保険者管理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	④ 支払額
⑤ 従前の標準報酬月額	⑥ 従前改定月	⑦ 標準報酬月額	⑧ 平均額	⑨ 正平均額
⑩ 給与計算の基礎日数	⑪ 通算によるもの額	⑫ 通算によるもの額	⑬ 平均額	⑭ 正平均額
1	91	健康 国男	5-590619	令和4年9月
⑤ 健 200	⑥ 厚 200	⑦ 昇給 給	⑧ 昇給 1. 昇給 2. 降給	⑨ 令和4年9月
⑩ 支払月 10 日数	⑪ 通算 ⑫ 現物	⑬ 合計 (⑩ + ⑫)	⑭ 令和4年9月	⑮ 令和4年9月
4 月			348,000	348,000
5 月	20 日	148,000	0	174,000
6 月	30 日	200,000	0	200,000

※70歳以上被用者の場合

⑭ 備考

70歳以上被用者算定 (算定基礎月： 月 月)

2. 二以上勤務 3. 月額変更予定 ④ 途中入社 5. 終休・育児・休職等 6. 短時間労働者 (特定適用事業所等) 7. パート 8. 年間平均 ⑤ その他 (令和4年4月1日 取得)

「4. 途中入社」を○で囲み、「9. その他」欄に資格取得年月日を記入します。

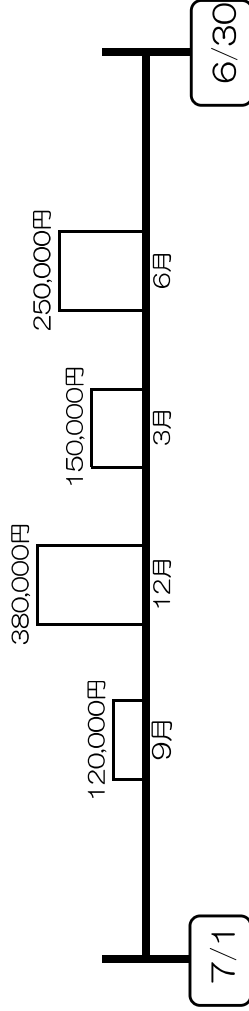
6月のみを報酬を記入します。

報酬月額 = 200,000円 (6月分)

ケース⑥ 賞与などが年4回以上支給されたとき

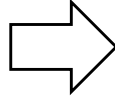
●前年の7月からその年の6月までに4回以上の賞与が支払われた場合
⇒支払われた賞与の合計額を12カ月で割った額を各月の報酬に加え、報酬月額を算出します。

(例) 賞与の支給が年4回



賞与支給額 = (9月：120,000円) + (12月：380,000円) + (3月：150,000円)
+ (6月：250,000円) = 900,000円

各月に算入する賞与の額 = 900,000円 ÷ 12 = 75,000円



《賞金台帳》

(単位：円)				(単位：円)	
月	支払基礎日数	基本給	通勤手当	賞与	合計
4月	31日	255,000	15,000	75,000	345,000
5月	30日	255,000	15,000	75,000	345,000
6月	31日	255,000	15,000	75,000	345,000
				総計	1,035,000

1月あたりの賞与を加えた合計を記入します。

「9. その他」を○で囲み、賞与の支払月と合計額を12カ月で割った金額を記入します。

《記入例》									
項目名		① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	④ 適用年月	⑤ 従前改定月	⑥ 期(牌)給	⑦ 期及支払額	⑧ 備考
1		32	社会 公一	5-590619	令和4年9月	260	260	345,000	1. 昇給 2. 降給
2		260	260	R3年9月	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
3		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
4		30	30	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
5		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
6		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
7		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
8		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
9		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
10		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
11		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
12		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
13		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
14		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
15		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
16		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
17		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
18		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
19		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
20		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
21		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
22		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
23		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
24		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
25		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
26		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
27		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
28		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
29		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
30		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
31		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
32		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
33		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
34		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
35		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
36		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
37		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
38		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
39		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
40		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
41		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
42		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
43		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
44		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
45		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
46		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
47		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
48		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
49		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
50		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
51		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
52		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
53		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
54		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
55		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
56		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
57		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
58		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
59		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
60		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
61		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
62		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
63		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
64		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
65		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
66		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
67		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
68		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
69		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
70		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
71		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
72		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
73		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
74		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
75		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
76		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
77		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
78		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
79		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
80		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
81		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
82		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
83		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
84		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
85		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
86		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
87		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
88		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
89		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
90		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
91		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
92		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
93		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
94		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
95		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
96		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
97		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
98		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
99		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給
100		31	31	345,000	0	345,000	0	345,000	1. 昇給 2. 降給

報酬月額 = (345,000円 + 345,000円 + 345,000円) ÷ 3 = 345,000円

ケース⑦ 一時帰休による休業手当が支給されているとき

- 7月1日時点で一時帰休の状況が解消していない場合
⇒一時帰休による休業手当等が支払われた月のみで算
報酬月額を算出します。

→ 総計

⑨ 給与 支給月		⑩ 給与計算の 基礎日数	⑪ 現貨によるもの額		⑫ 現物によるもの額		⑬ 繰上りによるもの額		⑭ 繰上りによるもの額		⑮ 繰上りによるもの額		⑯ 繰上りによるもの額		⑰ 繰上りによるもの額		⑱ 繰上りによるもの額		⑲ 繰上りによるもの額		⑳ 繰上りによるもの額		㉑ 繰上りによるもの額		㉒ 繰上りによるもの額		㉓ 繰上りによるもの額		㉔ 繰上りによるもの額		㉕ 繰上りによるもの額		㉖ 繰上りによるもの額		㉗ 繰上りによるもの額		㉘ 繰上りによるもの額		㉙ 繰上りによるもの額		㉚ 繰上りによるもの額		㉛ 繰上りによるもの額		㉜ 繰上りによるもの額		㉝ 繰上りによるもの額		㉞ 繰上りによるもの額		㉟ 繰上りによるもの額		㊱ 繰上りによるもの額		㊲ 繰上りによるもの額		㊳ 繰上りによるもの額		㊴ 繰上りによるもの額		㊵ 繰上りによるもの額		㊶ 繰上りによるもの額		㊷ 繰上りによるもの額		㊸ 繰上りによるもの額		㊹ 繰上りによるもの額		㊺ 繰上りによるもの額		㊻ 繰上りによるもの額		㊼ 繰上りによるもの額		㊽ 繰上りによるもの額		㊾ 繰上りによるもの額		㊿ 繰上りによるもの額		㋀ 繰上りによるもの額		㋁ 繰上りによるもの額		㋂ 繰上りによるもの額		㋃ 繰上りによるもの額		㋄ 繰上りによるもの額		㋅ 繰上りによるもの額		㋆ 繰上りによるもの額		㋇ 繰上りによるもの額		㋈ 繰上りによるもの額		㋉ 繰上りによるもの額		㋊ 繰上りによるもの額		㋋ 繰上りによるもの額		㋌ 繰上りによるもの額		㋍ 繰上りによるもの額		㋎ 繰上りによるもの額		㋏ 繰上りによるもの額		㋐ 繰上りによるもの額		㋑ 繰上りによるもの額		㋒ 繰上りによるもの額		㋓ 繰上りによるもの額		㋔ 繰上りによるもの額		㋕ 繰上りによるもの額		㋖ 繰上りによるもの額		㋗ 繰上りによるもの額		㋘ 繰上りによるもの額		㋙ 繰上りによるもの額		㋚ 繰上りによるもの額		㋛ 繰上りによるもの額		㋜ 繰上りによるもの額		㋝ 繰上りによるもの額		㋞ 繰上りによるもの額		㋟ 繰上りによるもの額		㋠ 繰上りによるもの額		㋡ 繰上りによるもの額		㋢ 繰上りによるもの額		㋣ 繰上りによるもの額		㋤ 繰上りによるもの額		㋥ 繰上りによるもの額		㋦ 繰上りによるもの額		㋧ 繰上りによるもの額		㋨ 繰上りによるもの額		㋩ 繰上りによるもの額		㋪ 繰上りによるもの額		㋫ 繰上りによるもの額		㋬ 繰上りによるもの額		㋭ 繰上りによるもの額		㋮ 繰上りによるもの額		㋯ 繰上りによるもの額		㋰ 繰上りによるもの額		㋱ 繰上りによるもの額		㋲ 繰上りによるもの額		㋳ 繰上りによるもの額		㋴ 繰上りによるもの額		㋵ 繰上りによるもの額		㋶ 繰上りによるもの額		㋷ 繰上りによるもの額		㋸ 繰上りによるもの額		㋹ 繰上りによるもの額		㋺ 繰上りによるもの額		㋻ 繰上りによるもの額		㋼ 繰上りによるもの額		㋽ 繰上りによるもの額		㋾ 繰上りによるもの額		㋿ 繰上りによるもの額		㌀ 繰上りによるもの額		㌁ 繰上りによるもの額		㌂ 繰上りによるもの額		㌃ 繰上りによるもの額		㌄ 繰上りによるもの額		㌅ 繰上りによるもの額		㌆ 繰上りによるもの額		㌇ 繰上りによるもの額		㌈ 繰上りによるもの額		㌉ 繰上りによるもの額		㌊ 繰上りによるもの額		㌋ 繰上りによるもの額		㌌ 繰上りによるもの額		㌍ 繰上りによるもの額		㌎ 繰上りによるもの額		㌏ 繰上りによるもの額		㌐ 繰上りによるもの額		㌑ 繰上りによるもの額		㌒ 繰上りによるもの額		㌓ 繰上りによるもの額		㌔ 繰上りによるもの額		㌕ 繰上りによるもの額		㌖ 繰上りによるもの額		㌗ 繰上りによるもの額		㌘ 繰上りによるもの額		㌙ 繰上りによるもの額		㌚ 繰上りによるもの額		㌛ 繰上りによるもの額		㌜ 繰上りによるもの額		㌝ 繰上りによるもの額		㌞ 繰上りによるもの額		㌟ 繰上りによるもの額		㌠ 繰上りによるもの額		㌡ 繰上りによるもの額		㌢ 繰上りによるもの額		㌣ 繰上りによるもの額		㌤ 繰上りによるもの額		㌥ 繰上りによるもの額		㌦ 繰上りによるもの額		㌧ 繰上りによるもの額		㌨ 繰上りによるもの額		㌩ 繰上りによるもの額		㌪ 繰上りによるもの額		㌫ 繰上りによるもの額		㌬ 繰上りによるもの額		㌭ 繰上りによるもの額		㌮ 繰上りによるもの額		㌯ 繰上りによるもの額		㌰ 繰上りによるもの額		㌱ 繰上りによるもの額		㌲ 繰上りによるもの額		㌳ 繰上りによるもの額		㌴ 繰上りによるもの額		㌵ 繰上りによるもの額		㌶ 繰上りによるもの額		㌷ 繰上りによるもの額		㌸ 繰上りによるもの額		㌹ 繰上りによるもの額		㌺ 繰上りによるもの額		㌻ 繰上りによるもの額		㌼ 繰上りによるもの額		㌽ 繰上りによるもの額		㌾ 繰上りによるもの額		㌿ 繰上りによるもの額		㍀ 繰上りによるもの額		㍁ 繰上りによるもの額		㍂ 繰上りによるもの額		㍃ 繰上りによるもの額		㍄ 繰上りによるもの額		㍅ 繰上りによるもの額		㍆ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上りによるもの額		㍇ 繰上りによるもの額		㍈ 繰上りによるもの額		㍉ 繰上りによるもの額		㍊ 繰上りによるもの額		㍋ 繰上りによるもの額		㍌ 繰上りによるもの額		㍍ 繰上りによるもの額		㍎ 繰上	
-------------	--	-----------------	------------	--	------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	------	--

① 収入計表の
受取月

② 収入計表の
支払月

③ 収入計表の
受取日数

④ 収入計表の
支払日数

⑤ 収入計表の
受取金額

⑥ 収入計表の
支払金額

⑦ 収入計表の
受取金額

⑧ 収入計表の
支払金額

⑨ 収入計表の
受取金額

⑩ 収入計表の
支払金額

⑪ 収入計表の
受取金額

⑫ 収入計表の
支払金額

⑬ 収入計表の
受取金額

⑭ 収入計表の
支払金額

⑮ 収入計表の
受取金額

⑯ 収入計表の
支払金額

⑰ 収入計表の
受取金額

⑱ 収入計表の
支払金額

⑲ 収入計表の
受取金額

⑳ 収入計表の
支払金額

㉑ 収入計表の
受取金額

㉒ 収入計表の
支払金額

㉓ 収入計表の
受取金額

㉔ 収入計表の
支払金額

㉕ 収入計表の
受取金額

㉖ 収入計表の
支払金額

㉗ 収入計表の
受取金額

㉘ 収入計表の
支払金額

㉙ 収入計表の
受取金額

㉚ 収入計表の
支払金額

㉛ 収入計表の
受取金額

㉜ 収入計表の
支払金額

㉝ 収入計表の
受取金額

㉞ 収入計表の
支払金額

㉟ 収入計表の
受取金額

㊱ 収入計表の
支払金額

㊲ 収入計表の
受取金額

㊳ 収入計表の
支払金額

㊴ 収入計表の
受取金額

㊵ 収入計表の
支払金額

㊶ 収入計表の
受取金額

㊷ 収入計表の
支払金額

㊸ 収入計表の
受取金額

㊹ 収入計表の
支払金額

㊺ 収入計表の
受取金額

㊻ 収入計表の
支払金額

㊼ 収入計表の
受取金額

㊽ 収入計表の
支払金額

㊾ 収入計表の
受取金額

㊿ 収入計表の
支払金額

㊿ 収入計表の
受取金額

㊿ 収入計表の
支払金額

㊿ 収入計表の
受取金額

㊿ 収入計表の
支払金額

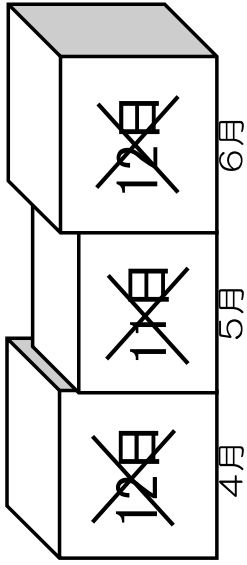
12

ケース⑧ 一般的な方法では算定できないとき

- 4、5、6月のいずれも支払基礎日数が17日未満（短時間就労者については15日未満、短時間労働者については11日未満）の場合、または病気等による欠勤、育児休業や介護休業等により4、5、6月のいずれも報酬を全く受けない場合
⇒従前の標準報酬月額で決定します。

《賃金台帳》

(単位：円)			
月	支払基礎日数	基本給	合計
4月	12日	78,000	78,000
5月	11日	71,500	71,500
6月	12日	78,000	78,000
総計			227,500



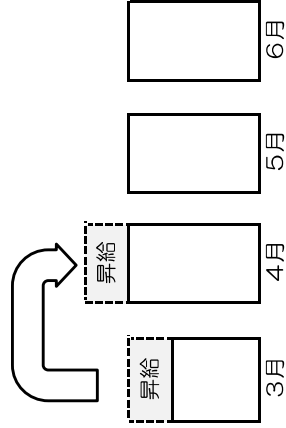
《記入例》

項目名	① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	④ 昇(降)給	⑤ 従前の標準報酬月額	⑥ 従前改定月	⑦ 昇(降)給	⑧ 昇(降)給	⑨ 個人番号(基礎年金番号) ※70歳以上被用者の場合
1	93	厚生 桃子	7-010303	78,000	78,000	78,000	78,000	78,000	⑩ 備考
2	134	厚 134	R3年9月	78,000	78,000	78,000	78,000	78,000	⑪ 備考
3	134	厚 134	R3年9月	78,000	78,000	78,000	78,000	78,000	⑫ 備考
4	12	12	12	12	12	12	12	12	⑬ 備考
5	11	11	11	11	11	11	11	11	⑭ 備考
6	12	12	12	12	12	12	12	12	⑮ 備考
7	12	12	12	12	12	12	12	12	⑯ 備考
8	12	12	12	12	12	12	12	12	⑰ 備考
9	12	12	12	12	12	12	12	12	⑱ 備考
10	12	12	12	12	12	12	12	12	⑲ 備考
11	12	12	12	12	12	12	12	12	⑳ 備考
12	12	12	12	12	12	12	12	12	㉑ 備考
13	12	12	12	12	12	12	12	12	㉒ 備考
14	12	12	12	12	12	12	12	12	㉓ 備考
15	12	12	12	12	12	12	12	12	㉔ 備考
16	12	12	12	12	12	12	12	12	㉕ 備考
17	12	12	12	12	12	12	12	12	㉖ 備考
18	12	12	12	12	12	12	12	12	㉗ 備考
19	12	12	12	12	12	12	12	12	㉘ 備考
20	12	12	12	12	12	12	12	12	㉙ 備考
21	12	12	12	12	12	12	12	12	㉚ 備考
22	12	12	12	12	12	12	12	12	㉛ 備考
23	12	12	12	12	12	12	12	12	㉜ 備考
24	12	12	12	12	12	12	12	12	㉝ 備考
25	12	12	12	12	12	12	12	12	㉞ 備考
26	12	12	12	12	12	12	12	12	㉟ 備考
27	12	12	12	12	12	12	12	12	㊱ 備考
28	12	12	12	12	12	12	12	12	㊲ 備考
29	12	12	12	12	12	12	12	12	㊳ 備考
30	12	12	12	12	12	12	12	12	㊴ 備考
31	12	12	12	12	12	12	12	12	㊵ 備考
32	12	12	12	12	12	12	12	12	㊶ 備考
33	12	12	12	12	12	12	12	12	㊷ 備考
34	12	12	12	12	12	12	12	12	㊸ 備考
35	12	12	12	12	12	12	12	12	㊹ 備考
36	12	12	12	12	12	12	12	12	㊺ 備考
37	12	12	12	12	12	12	12	12	㊻ 備考
38	12	12	12	12	12	12	12	12	㊼ 備考
39	12	12	12	12	12	12	12	12	㊽ 備考
40	12	12	12	12	12	12	12	12	㊾ 備考
41	12	12	12	12	12	12	12	12	㊿ 備考
42	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
43	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
44	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
45	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
46	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
47	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
48	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
49	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
50	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
51	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
52	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
53	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
54	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
55	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
56	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
57	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
58	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
59	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
60	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
61	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
62	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
63	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
64	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
65	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
66	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
67	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
68	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
69	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
70	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
71	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
72	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
73	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
74	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
75	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
76	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
77	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
78	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
79	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
80	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
81	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
82	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
83	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
84	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
85	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
86	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
87	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
88	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
89	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
90	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
91	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
92	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
93	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
94	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
95	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
96	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
97	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
98	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
99	12	12	12	12	12	12	12	12	備考
100	12	12	12	12	12	12	12	12	備考

欠勤等の場合には、「5. 病休・育休・休職等」を○で囲み、「9. その他」欄に「○月○日から休職」等と記入します。

ケース⑨ 一般的な方法で算定すると著しく不当になるとき

- (1) 3月以前にさかのぼった昇給の差額分または3月以前の給与と4、5、6月のいずれかの月に受けた場合
⇒ 3月以前の昇給差額分（または遅配分）を除いた報酬月額額の総計から報酬月額を算出します。



《金瓶梅》

月	支払基礎日数	基本給	3月分昇級差額分	合計
4月	31日	267,000	20,000	287,000
5月	30日	267,000	0	267,000
6月	31日	267,000	0	267,000
			総計	821,000

(單位：巴)

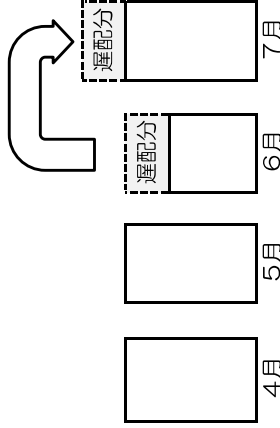
《記入例》

[illegible]

3月以前の昇給差額分（または運配分）を除いた総報酬額を3で割った額を記入します。

「⑧遡及支払額」の欄に差額支給月・昇給差額を記入します。

$$\text{報酬月額} = \{ (287,000\text{円} - 20,000\text{円}) + 267,000\text{円} \} \div 3 = 267,000\text{円}$$



- (2) 4、5、6月のいずれかの月の給与が7月以降に支払われる場合
⇒7月以降に支払われる月以外の月を対象月とします。

《記入例》

[illegible]

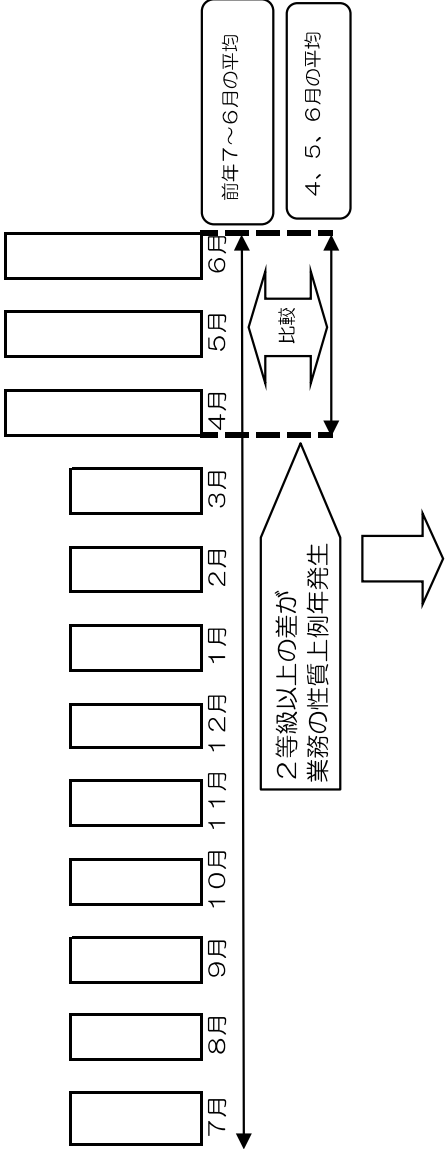
7月以降に支払われる月（6月分）を除いた報酬総額を対象月で割った額を記入します。

「9. その他」の欄に遅配分がある月等を記入します。

報州月額 = (344,600円 + 325,600円) ÷ 2 = 335,100円

(4) 「4、5、6月の給与の平均額から算出した標準報酬月額」と「前年の7月から当年の6月までの給与の平均額から算出した標準報酬月額」に2等級以上の差が生じ、その差が業務の性質上例年発生することが見込まれる場合
⇒ 前年の7月から当年の6月までの給与の平均額から算出した標準報酬月額で決定することができます。

※申し立てる場合は、「事業主の申立書」と「被保険者の同意」の提出が必要です。



算定基礎届には、4、5、6月に支払
われたものを記入します。

① 被保険者整理番号		② 被保険者氏名		③ 生年月日		④ 適用年月		⑩ 記入番号【適用年番号のみ】	
⑤ 従前の額		⑥ 従前改定月		⑦ 昇（降）給		⑧ 期及支払額		⑪ 備考	
⑨ 給与 支給月 給与計算の 基礎日数		⑩ 報酬月額		⑪ 合計（⑩＋⑨）		⑫ 平均額			
		⑬ 前年によるもの額		⑭ 修正平均額					
26		年金 正則		5-490206		令和4年9月			
⑤ 健 380		⑥ R3年9月		⑦ 昇（降）給		⑧ 期及支払額			
⑨ 支払月 ⑩ 日数		⑪ 昇給 1. 昇給 2. 降給		⑫ 合計		⑬ 平均額		⑭ 修正平均額	
4 月 31 日	31	⑥ 昇給 380,000 円		⑦ 合計（⑩＋⑪） 380,000 円		⑧ 期及支払額 1,140,000 円			
5 月 30 日	30	⑥ 昇給 380,000 円		⑦ 合計（⑩＋⑪） 380,000 円		⑧ 期及支払額 380,000 円			
6 月 31 日	31	⑥ 昇給 380,000 円		⑦ 合計（⑩＋⑪） 380,000 円		⑧ 期及支払額 320,875 円			

希望する場合は「8、年間平均」を○で囲みます。

○4、5、6月の3ヵ月平均
報酬月額＝（380,000円＋380,000円＋380,000円）÷3＝380,000円
⇒ 標準報酬月額 38万円

毎年4、5、6月が繁忙期にあたり、他の期間よりも報酬が増える業種（部署）の場合で前年の7月から当年の6月までの年間平均 320,875円
⇒ 標準報酬月額 32万円

「事業主の申立書」と「本人の同意」を添えて届出いただくことにより、
標準報酬月額を32万円決定することができます。

《「事業主の申立書」や「本人の同意」等の届出様式については、こちらをご確認ください。》
日本年金機構ホームページ：定時決定のため、4月～6月の報酬月額の届出を行う際、
年間報酬の平均で算定するとき

<https://www.nenkin.go.jp/service/kounen/kenpo-todoke/hoshu/20141002.html>



(様式1)

〇〇年金事務所長 様

年間報酬の平均で算定することの申立書

当事業所は茶の栽培・販売業を行っており、毎年、4月から6月までの間は、一番茶の収穫時期であり、茶葉摘み取りのため、例年従業員に所定労働時間を超えた時間外労働を命じている状況であるため、繁忙期となることから、健康保険及び厚生年金保険被保険者の報酬月額算定基礎届を提出するにあたり、健康保険法第41条及び厚生年金保険法第21条の規定による定時決定の算定方法によると、年間報酬の平均により算出する方法より、標準報酬月額等級について2等級以上の差が生じ、著しく不当であると思料するため、健康保険法第44条第1項及び厚生年金保険法第24条第1項における「報酬月額の算定の特例」（年間）にて決定するよう申立てします。

なお、当事業所における例年の状況、標準報酬月額の比較及び被保険者の同意等の資料を添付します。

令和4年 7月 1日

事業所所在地	〇〇市△△ 1-1-1
事業所名称	<input type="checkbox"/> 製茶 株式会社
事業主氏名	代表取締役社長 年金一郎
連絡先	03-0000-0000

※ 業種等は正確に、理由は具体的に記入いただくようお願いいたします。

被保険者算定申立に係る例年の状況、標準報酬月額額の比較及び被保険者の同意等

記入例

【申請にあたっての注意事項】

- この用紙は、算定基礎届をお届けいただくにあたって、年間報酬の平均で決定することを申し立てる場合に必ず提出してください。
- この用紙は、定時決定にあたり、4、5、6月の報酬の月平均と年間報酬の月平均に2等級以上差があり、年間報酬の平均で決定することに同意する方のみ記入してください。
- また、被保険者の同意を得ている必要がありますので、同意欄に被保険者の氏名を記入してください。
- なお、標準報酬月額は、年金や傷病手当金など、被保険者が受ける保険給付の額にも影響を及ぼすことにご留意下さい。

事業所整理記号	01-222	事業所名称	□製茶株式会社	
被保険者整理番号		被保険者の氏名		種別
123		年金 太郎		1
		生 年 月 日		
		昭和55年5月5日		

【前年7月～当年6月の報酬等の欄】				
算定基礎月の報酬支払基礎日数			通貸によるものの額	現物によるものの額
令和 3 年 7 月	30 日	305,500 円	0 円	合計 305,500 円
令和 3 年 8 月	31 日	300,000 円	0 円	300,000 円
令和 3 年 9 月	31 日	300,000 円	0 円	300,000 円
令和 3 年 10 月	30 日	300,000 円	0 円	300,000 円
令和 3 年 11 月	31 日	300,000 円	0 円	300,000 円
令和 3 年 12 月	30 日	300,000 円	0 円	300,000 円
令和 4 年 1 月	31 日	305,000 円	0 円	305,000 円
令和 4 年 2 月	31 日	300,000 円	0 円	300,000 円
令和 4 年 3 月	28 日	300,000 円	0 円	300,000 円
令和 4 年 4 月	31 日	380,000 円	0 円	380,000 円
令和 4 年 5 月	30 日	380,000 円	0 円	380,000 円
令和 4 年 6 月	31 日	380,000 円	0 円	380,000 円

【標準報酬月額額の比較欄】※全て事業主が記入してください。		
従前の健康保険標準報酬月額額	健康保険	厚生年金保険
	380 千円	380 千円

前年7月～本年6月の合計額（※）		前年7月～本年6月の平均額（※）		健康保険標準報酬月額額		厚生年金保険標準報酬月額額	
3,850,500 円		320,875 円		23 等級	320 千円	20 等級	320 千円

本年4月～6月の合計額（※）		本年4月～6月の平均額（※）		健康保険標準報酬月額額		厚生年金保険標準報酬月額額	
1,140,000 円		380,000 円		26 等級	380 千円	23 等級	380 千円

2等級以上（○又は×）		修正平均額（※）		健康保険標準報酬月額額		厚生年金保険標準報酬月額額	
○		320,875 円		23 等級	320 千円	20 等級	320 千円

【標準報酬月額額の比較欄】の（※）部分を算出する場合は、以下にご注意ください。

- 支払基礎日数17日未満の月の報酬額は除く。
- 短時間就労者の場合は、「通常の方法で算出した標準報酬月額」（当年4月～6月）の支払基礎日数を17日以上の月の報酬の平均額とし、「年間平均で算出した標準報酬月額」（前年7月～当年6月）も17日以上の月の報酬の平均額とし、17日以上の月の報酬の平均額を17日以上の月の報酬の平均額とする。
- 通常の方法で算出した標準報酬月額が17日以上の月の報酬の平均額より15日以上の月の報酬の平均額より低い場合は、支払基礎日数が15日以上の月の報酬の平均額とする。
- 低額の休職給を受けた月、フリースペースによる賃金カットを受けた月及び一時休職に伴う休業手当等を受けた月を除く。
- 給付の支払に差配がある場合は、前年6月分以前に支払うべきであった給付の遅配分を前年7月～当年6月までに受けた場合は、その遅配分に当たる報酬の額を除く。
- 前年7月～当年6月までの間に本来支払うべきの報酬の一部が、当年7月以降に支払われることになった場合は、その支払うはずだった月を除く。
- この保険者算定の要件に該当する場合は、「修正平均額」には、「前年7月～本年6月の平均額」を記入。

【被保険者の同意欄】	
私は本年の定時決定にあたり、年間報酬額の平均で決定することを希望しますので、当事業所が申立てすることに同意します。	
年金 太郎	
被保険者氏名	
【備考欄】	

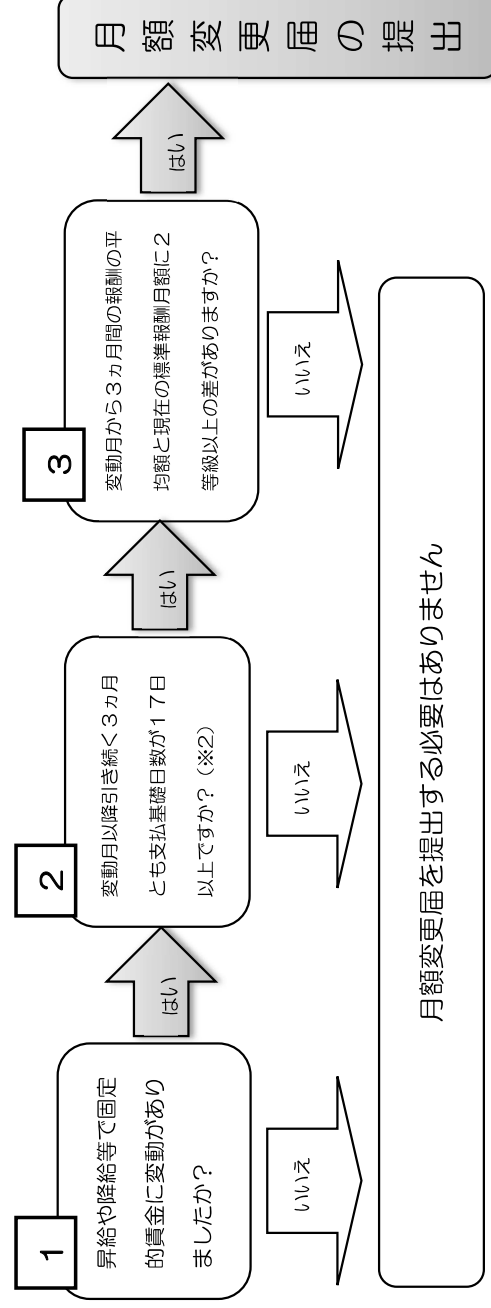
4. 随時改定と月額変更届

毎年1回の定時決定により決定された標準報酬月額は、原則その年の9月から翌年の8月まで1年間適用されますが、この間に昇給や降給などにより報酬に大幅な変動があったときは、実態とかけ離れた状態にならないよう次回の定時決定を待たずに標準報酬月額を見直します。これを「随時改定」といい、「月額変更届」を提出していただくことになります。

改定された標準報酬月額は、再び随時改定がない限り、6月以前に改定された場合は当年の8月まで、7月以降に改定された場合は翌年の8月までの各月に適用されます。

(1) 月額変更が必要とき（※1）

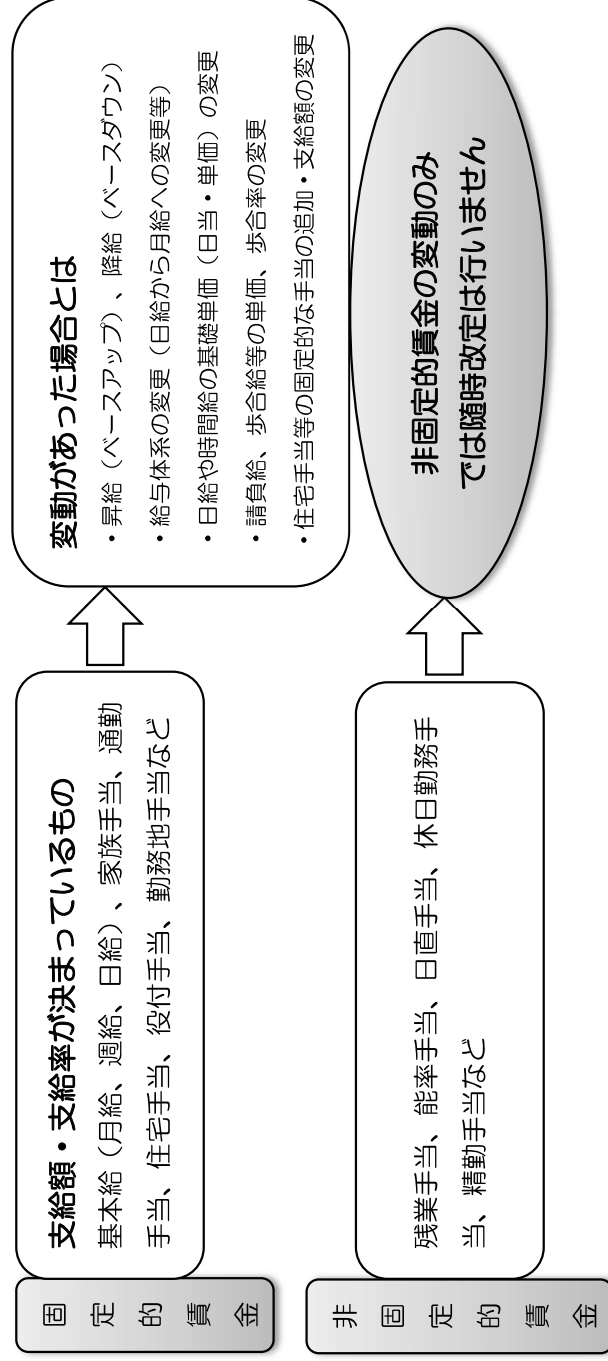
「月額変更届」による随時改定は、次の3つの条件を全て満たしたときに行います。



（※1） 随時改定に該当すれば、固定的金額が変動し、その報酬を支払った月から数えて4ヵ月目に新たな標準報酬月額が適用されます。

（※2） 特定適用事業所における「短時間労働者」の場合は支払基礎日数11日以上で読み替えてください。

(2) 固定的金額の変動とは



(3) 随時改定の対象とならない場合

- ① 固定的金額は上がったが、残業手当などの非固定的金額が減ったため、変動後の引き続いた3ヵ月分の報酬の平均額による標準報酬月額が従前より下がり、2等級以上の差が生じた場合
- ② 固定的金額は下がったが、非固定的金額が増えたため、変動後の引き続いた3ヵ月分の報酬の平均額による標準報酬月額が従前より上がり、2等級以上の差が生じた場合

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により休業した方で、休業により報酬が著しく下がった方について、事業主からの届出により、健康保険・厚生年金保険料の標準報酬月額を、通常の随時改定（4ヵ月目に改定）によらず、翌月から改定可能です。

詳細は、日本年金機構ホームページ（<https://www.nenkin.go.jp/>）をご確認ください。

月額変更届の記入例

●昇給したとき

1. 従前の標準報酬月額・・・220千円（健保18級、厚年15級）
2. 基本給200,000円が本年4月支給から30,000円上がり、230,000円となった。
※未締め 翌月15日払い

支給日	基本給	通勤手当	残業手当	合計
3月15日	200,000円	5,000円	10,600円	215,600円
4月15日	230,000円	5,000円	23,600円	258,600円
5月15日	230,000円	5,000円	22,300円	257,300円
6月15日	230,000円	5,000円	20,400円	255,400円

固定的金だけでなく、
残業手当などの非固定の
賃金も含めた総支給額で
計算します。

《記入例》

項目名		① 被保険者管理番号	② 被保険者氏名		③ 生年月日	④ 改定年月	⑩ 備考			
		⑤ 従前の標準報酬月額	⑥ 従前改定月		⑦ 課（徴）給	⑧ 課及支払額				
⑨ 支払月	⑩ 日数	⑪ 通貨	報酬月額		⑬ 合計（⑩+⑪）	⑭ 平均額				
			⑫ 課税によるもの額	⑬ 課税に非なるもの額						
①	68	②	年金 大助		③	5-4-10710	④	04年7月	⑪	
⑤	健 220 厚 220	⑥	03年9月		⑦ 課（徴）給	⑧ 課給	⑨ 課及支払額	⑩	1. 70歳以上適用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者 （特設適用事業所等） ④ 昇給・降給の理由 （標準報酬の変更） 5. 標準報酬のみ月額変更 （70歳適用時の月額変更等） 6. その他	
⑨ 支払月	⑩ 日数	⑪ 通貨	⑫ 課税物	⑬ 合計（⑩+⑪）	⑭ 平均額	⑮ 修正平均額	⑯			
4	31	258,600 円	0 円	258,600 円	771,300 円	257,100 円				
5	30	257,300 円	0 円	257,300 円	257,100 円	255,400 円				
6	31	255,400 円	0 円	255,400 円	255,400 円	255,400 円				

●昇給差額が支給されたとき

1. 従前の標準報酬月額・・・220千円（健保18級、厚年15級）
2. 基本給200,000円が30,000円上がり、230,000円となった。
※未締め 翌月15日払い
3. 4月にさかのぼり昇給し、その差額が5月に支給された。

支給日	基本給	※4月分の昇給差額	残業手当	合計
4月15日	200,000円		10,600円	210,600円
5月15日	230,000円	30,000円	23,600円	283,600円
6月15日	230,000円		27,300円	257,300円
7月15日	230,000円		25,400円	255,400円

《記入例》

① 被保険者番号		② 被保険者氏名		③ 生年月日		④ 改定年月	
⑤ 扶給の標準報酬月額		⑥ 扶給改定月		⑦ 算（給）給		⑧ 額及支払額	
⑨ 給与 給与計算の 支給年月	⑩ 給与 給与計算の 標準日数	⑪ 報酬によるもの額		⑫ 算給によるもの額		⑬ 合計	
		⑭ 算給によるもの額		⑮ 合計（⑩+⑭）		⑯ 修正平均額	
① 58		② 年金 正弘		③ 5-530201		④ 04年8月	
⑤ 健 220	厚 220	⑥ 03年9月		⑦ 算（給）給 ① 算給 ② 臨給		⑧ 額及支払額	
⑨ 5月 30日	⑩ 通貨 283,600	⑪ 建物 0		⑫ 合計（⑩+⑪） 283,600		⑬ 総計 5月 30,000	
⑨ 6月 31日	⑩ 通貨 257,300	⑪ 建物 0		⑫ 合計（⑩+⑪） 257,300		⑬ 修正平均額 265,433	
⑨ 7月 30日	⑩ 通貨 255,400	⑪ 建物 0		⑫ 合計（⑩+⑪） 255,400		⑬ 修正平均額 255,433	

① 被保険者番号【被保険者番号】 ※70歳以上
上乗用者の欄5のみ

② 1. 70歳以上乗用者月額変更
2. 二以上乗用
3. 短時間労働者
（特任労働者事務所等）
④ 算給・給給の理由
（基本給の変更）
5. 報酬改定のみ月額変更
（70歳到達時の賃金変更等）
6. その他

$$\text{修正平均額} = \{ (283,600\text{円} - 30,000\text{円}) + 257,300\text{円} + 255,400\text{円} \} \div 3 = 255,433\text{円}$$

※差額を差し引いて計算します。

5. 賞与支払届

賞与についても、健康保険・厚生年金保険の毎月の保険料と同率の保険料を納めます。事業主は、賞与の支払いがありましたら、その支給日から5日以内に、賞与支払届を提出してください。

※ 令和3年4月1日から、賞与支払届に添付いただいていた賞与支払届総括表を廃止しました。

賞与支払予定月を届け出ていただいている事業所については、事前に賞与支払届と、賞与不支給報告書を送りしております。登録された賞与支払月に賞与の支払いがなかった場合は、必ず賞与不支給報告書をご提出ください。

● 以下に該当する場合は、次の届書もあわせてご提出ください。

- ・ 同一年度内に、同一保険者内で被保険者資格の取得・喪失があった方で、標準賞与額の累計が573万円を超えた場合

→健康保険 標準賞与額累計申出書

(1) 標準賞与額の対象となる賞与

賞与、期末手当、決算手当、その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるもののうち、年3回以下の支払いのものをいいます。なお、年4回以上支払うものは標準報酬月額額の対象とされ、また、労働の対償とみなされない結婚祝金などは対象外です。

(2) 標準賞与額とは

実際に支払われた賞与額（税引き前の総支給額）から1,000円未満を切り捨てた額が「標準賞与額」です。「標準賞与額」に健康保険・厚生年金保険の保険料率をかけた額がその賞にかかる保険料額となります。
保険料は、事業主と被保険者が折半で負担します。標準賞与額の上限は、健康保険では年度の累計額573万円（年度は毎年4月1日から翌年3月31日まで）、厚生年金保険は1ヵ月あたり150万円です。

算定基礎届（定時決定）におけるよくあるご質問と回答 （令和4年度）

※【0ページ】（赤字）は、ガイドブックの該当ページの該当ページを示しています。

【届出について】

Q1 提出期限が7月1日から7月11日までとなっているが、期限を過ぎても提出は可能ですか。【1ページ】

A 期限を過ぎても提出は可能ですが、できる限り期限内の提出をお願いします。

Q2 送付されてきた算定基礎届に新入社員の名前が記載されていないが、どうしたらよいですか。【2ページ】

A 送付している算定基礎届は、5月19日までに日本年金機構で入力処理をした情報をもとに、被保険者の氏名等を印字しています。

算定基礎届の提出対象者（5月31日以前に資格取得した被保険者）の情報が記載されていない場合は、送付した算定基礎届の氏名等が印字されていない欄に追記した上でご提出ください。

なお、6月1日以降に資格取得した被保険者については本年度の算定基礎届の提出は不要です。

※ 記載欄が不足する場合は、届出用紙を送付しますので、管轄の年金事務所へご連絡ください。また、届出用紙は、日本年金機構ホームページからダウンロードすることも可能です。

Q3 4月昇給の当月支払いであり、7月の月額変更に該当するが、算定基礎届に必要事項を記載し、備考欄「3.月額変更予定」に○をすれば、月額変更届の提出は不要ですか。【2ページ】

A 7月改定の月額変更届の提出は必要です。なお、算定基礎届については、当該被保険者の備考欄「3.月額変更予定」に○を付し、報酬月額欄等は空欄（未記入）で提出してください。

Q 4 算定基礎届と月額変更届（7月・8月・9月改定分）では、どちらの標準報酬月額が優先されますか。【2ページ】

A 7月、8月または9月の随時改定に該当する場合は、随時改定により決定された標準報酬月額が優先されます。このため、算定基礎届の提出後であっても、7月、8月または9月の随時改定に該当した場合は、月額変更届を提出してください。

Q 5 8月または9月に随時改定の要件に該当することが予定されている場合、算定基礎届の提出は不要ですか。【2ページ】

A 8月または9月の随時改定の要件に該当することが予定されている被保険者について、事業主が申出を行った場合は、算定基礎届の届出を省略することが可能です。

Q 6 8月または9月に随時改定が予定されている被保険者について、算定基礎届の届出省略の申出は、どのように行えばよいのでしょうか。【2ページ】

A 8月または9月の随時改定予定者について、次のように算定基礎届を届出してください。

【紙媒体による届出の場合】

8月または9月に随時改定が予定されている被保険者の報酬月額欄を記入せず、空欄としたうえで、備考欄の「3. 月額変更予定」に○を付して提出してください。

【電子媒体および電子申請による届出の場合】

8月または9月に随時改定が予定されている被保険者を除いて算定基礎届を作成のうえ、提出してください。（提出がないことをもって、申出があったものとみなします。）

Q 7 8月または9月に随時改定が予定されている被保険者について、算定基礎届の届出省略の申出を行う際、誤って報酬月額欄を記載して提出した場合は、どのような処理となりますか。

A 紙媒体による届出において、報酬月額欄が記載されている、また、電子媒体および電子申請による届出において、随時改定予定者も含めて届書が作成されている等、届出省略の申出方法によらずに届出された算定基礎届は、機構において、事業主が届出省略の申出を意図して提出したものであるかの判断がつかないため、通常の届出と同様の処理となります。このため、記載された報酬月額等に基づき、審査・入力処理を行った上で、事業主あてに「健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬決定通知書」をお送りします。

Q 8 算定基礎届の届出省略の申出を行った被保険者について、8月または9月の随時改定の要件に該当しないことが判明した場合、どのような手続きを行えばよいでしょうか。【2 ページ】

A 当該被保険者の算定基礎届を作成したうえで、速やかに提出してください。

Q 9 算定の対象となる期間の途中で70歳になった場合、備考欄はどう記載したらよいですか。【3 ページ】

A 70歳以上被用者の方は、備考欄の「1.70歳以上被用者算定」を○で囲んでください。算定期間中に70歳に到達した場合は、70歳以上被用者にかかる算定基礎月を（）内に記入してください。

※ 70歳以上被用者にかかる標準報酬月額相当額は、70歳以上被用者にかかる算定基礎月の報酬月額で決定されます。そのため、4月から6月までの支払対象期間中に70歳に到達した場合は、70歳以降の期間のうち1ヵ月分の給与を支給した月の平均額で決定します。

【支払基礎日数について】

Q 10 算定の対象となる期間中に、従業員が1時間だけ勤務し帰宅した日があった場合（1時間分の給与支給有）、この日は支払基礎日数に含まれますか。【4 ページ】

A 支払基礎日数とは、報酬の支払い対象となった日数となります。このため、1時間だけの勤務であっても、給与（報酬）の支払い対象となっている場合は、1日としてカウントし、支払基礎日数に含めることとなります。

Q 1 1 夜勤労働者で日をまたぐ勤務を行っている場合の支払基礎日数はどうなりますか。【4 ページ】

- A ① 月給者の場合：各月の暦日数を支払基礎日数とします。
② 日給者の場合：給与支払の基礎となる出勤日数を支払基礎日数とします。
（変形労働時間制を導入している場合は、③に準じて扱います。）
③ 時給者の場合：各月の総労働時間を事業所の所定労働時間で割って得た日数を支払基礎日数とします。

【報酬月額について】

Q 1 2 6 ヶ月単位で従業員に支給した通勤手当は、報酬月額に含まれますか。【4 ページ】

- A 6 ヶ月単位で支給した通勤手当についても、労働者が労働の対象として受けるものに当たするため、報酬月額に含まれることとなります。なお、報酬月額に計上する際は、6 月で割って、1 ヶ月あたりの金額を算出し、各月の報酬月額に含めてください。

Q 1 3 基本給や諸手当の支払いが変更となった結果、通常の月よりも給与額が増減する場合、標準報酬月額の算定はどのように行うのですか。

- A ① 給与や諸手当が翌月から当月払いに変更された場合
変更月に支給される給与等に重複分が発生しますが、制度変更後の給与等がその月に受けるべき給与であるとみなして、変更前の給与額を除き 4、5、6 月の平均額を算出し、標準報酬月額を算定します。
② 当月払いの諸手当が翌月払いに変更された場合
変更月には諸手当が支給されないこととなるため、その月は算定の対象から除き、残りの月に支払われた報酬月額に基づき、標準報酬月額を算定します。

Q 1 4 給与の締め日が変わり、変更月の支払基礎日数が通常の月よりも増加（減少）した場合、標準報酬月額の算定はどのように行いますか。

A ① 支払基礎日数が増加する場合

超過分の報酬を除外した上で、その他の月の報酬との平均額を算出し、準報酬月額を算定します。

例) 給与締め日が20日から25日に変更された場合

締め日を変更した月のみ給与計算期間が前月21日～当月25日の給与を除外し、締め日変更後の給与制度で計算すべき期間（前月26日～当月25日）で算出された報酬をその月の報酬としたうえで、そのほかの月の報酬との平均額を算出します。

② 支払基礎日数が減少した場合

支払基礎日数が減少した場合であっても、支払基礎日数が17日以上であれば、通常と同様の方法により標準報酬月額を算定します。また、支払基礎日数が17日未満となった場合は、その月を除外したうえで報酬の平均額を算出し、標準報酬月額の算定を行います。

【現物給与について】

Q15 勤務地がA県、社宅がB県にある場合、現物給与の価額はどちらを使用したらよいですか。

A 被保険者の人事、労務および給与の管理がされている事業所が所在する地域の価額で算定することとなるため、A県の価額で計算してください。

Q16 現物給与について、本社と支店が合わせて一つの適用事業所となっている場合、本社または支店のどちらの地域の価額で計算したらよいですか。

A 通常、被保険者の人事、労務および給与の管理がされている事業所が所在する地域の価額で算定することとなりますが、現物給与の価額は本来、生活実態に即した価額になることが望ましいことから、本社・支店が所在する県が異なる場合は、本社・支店等それぞれが所在する地域の価額により計算してください。

なお、派遣労働者の場合は、実際の勤務地（派遣先の事業所）ではなく、派遣元の事業所が所在する都道府県の価額で計算してください。

【記入例について】

Q 1 7 標準報酬月額の変更に、被保険者区分の変更

(例：短時間労働者⇒一般の被保険者等)があった場合、どのように算定を行うのですか。【9 ページ】

A 算定の対象月は、各月の被保険者区分に基づき、判定を行います。このため、被保険者区分が一般の被保険者（パートタイマーを含む）である月は、支払基礎日数が17日以上ある月を、短時間労働者である月は、支払基礎日数が11日以上ある月を算定の対象とし、対象となった月の平均で標準報酬月額を決定します。

なお、パートタイマーの場合で、4、5、6月に上記支払基礎日数を満たす月が一月もない場合は、支払基礎日数が15日以上の月を算定の対象とし、標準報酬月額の決定を行います。

＜例：4、5月が一般、6月が短時間の場合＞

一般	4月	16日	135,000円
	5月	18日	150,000円
短時間	6月	12日	108,000円

被保険者区分別に支払基礎日数が基準を満たしている5月、6月の標準報酬月額に基づき、標準報酬月額を算定する。

Q 1 8 月の途中に被保険者区分の変更が行われた場合、算定の対象月はどのように判断すればよいでしょうか。【9 ページ】

A 当該月の報酬の給与計算期間の末日における被保険者区分に応じた支払基礎日数の基準により、その月が算定の対象月となるかならないかを判断してください。

Q 1 9 給与計算が20日締め、当月末払いのため、4月1日に入社した社員について、4月の給与は1ヵ月分の給与が支給されません。支払基礎日数は17日以上ありますが、4月は算定の対象月となりますか。【10 ページ】

A 給与支払対象期間の途中から入社することにより、入社月の給与額が1ヵ月分の額とならない場合は、対象月を含めることで本来の等級よりも低い等級で標準報酬月額が決定されてしまうため、1ヵ月分の給与が支給されない

月（途中入社月）を算定の対象月から除いて計算を行います。このため、ご質問のケースの場合は、4月を算定の対象月から除いてください。

なお、算定基礎届を提出する際は、「⑭総計」欄から途中入社月の報酬月額を除いた金額により算出した平均額を「⑯修正平均額」欄に記入したうえで、「⑱備考」欄の「4. 途中入社」および「9. その他」に○を付し、括弧内に「資格取得年月日」を記入してください。

Q20 今年は業績が良く、4回目の賞与を支払ったが、過去3回分は賞与支払届を提出し保険料を支払った。算定基礎届はどのように記入したらよいですか。【11 ページ】

A 諸規定により、年4回以上の賞与の支給が定められている場合は、当該賞与を報酬に含めて算定します。この場合、7月1日以前の1年間に受けた4回以上の賞与の合計額を12で除した上で、各月の報酬月額に算入し、標準報酬月額を算定することとなります。

ただし、当該賞与がその年に限り支給されたことが明らかな場合（翌年以降の支払いは未定）は、年間の賞与支給回数に含めないこととなりますので、その場合は各月の報酬月額に算入せず、「賞与支払届」による届出をお願いします。

Q21 病気療養中のため給与の支払いがない被保険者について、算定基礎届の提出が必要です。【13 ページ】

A 病気療養中等により、算定基礎届の対象となる4月、5月、6月の各月とも報酬の支払いがない場合も、算定基礎届の提出は必要です。

この場合、「⑱備考」欄の「5. 病休・育休・休職等」を○で囲み、「9. その他」欄に「○月○日から休職」等と記入いただくことで、保険者において、従前の標準報酬月額により決定することとなります。

Q22 3月以前に支払うべき給与の支払いが遅延したことにより、4月に支払った。算定基礎届はどのように記入したらよいですか。【14 ページ】

A 給与支払いの遅延等により、算定対象月の報酬月額に算定対象月の前月以

前分の支払額（遡及支払額）が含まれている場合は、報酬月額額の総計から遡及支払額を除いた報酬月額により、標準報酬月額を算定します。

なお、算定基礎届を提出する際は、「⑧遡及支払額」欄に遡及支払額の支払いがあった月（上記のケースは4月）および遡及支払額（3月以前分の支払額）を記入し、「⑭総計」欄から遡及支払額（3月以前分の支払額）を除いた金額により算出した平均額を、「⑯修正平均額」欄に記入してください。

Q23 6月に支払うべき給与の支払いが遅延し、7月に支払う予定です。算定基礎届はどのように記入したらよいですか。【14 ページ】

A 算定対象期間に給与の遅配がある月が含まれている場合は、給与の遅配がある月を除いた算定対象月の報酬月額額の平均額に基づき、標準報酬月額を算定します。

なお、算定基礎届を提出する際は、「⑭総計」欄から給与の遅配のある月（上記のケースは6月）の報酬月額を除いた金額により算出した平均額を「⑯ 修正平均額」欄に記入するとともに、「⑯備考」欄の「9. その他」に○を付し、括弧内に「給与の遅配がある月」と「遅配日数」を記入してください。

Q24 業務の性質上、例年4、5、6月の3カ月の平均額と年間の平均額の間に2等級以上の差が生じる場合の年間平均の手続きはどのようにしたらよいですか。【16 ページ～18 ページ】

A 「⑯備考」欄の「8. 年間平均」に○を付した上で、算定基礎届に「年間報酬の平均で算定することの申立書」および「保険者算定申立に係る例年の状況、標準報酬月額額の比較及び被保険者の同意等」（以下「被保険者の同意等」という。）を添付して提出してください。

なお、提出する際は、算定基礎届に4、5、6月の報酬月額等を記入するとともに、過去1年間の報酬月額に基づき算出した平均額（「被保険者の同意等」に記載した修正平均額）を、「⑯修正平均額」欄に記入してください。

令和4年4月から現物給与の価額が改正されます

報酬や賞与の全部または一部が、通貨以外のもので支払われる場合（現物給与）の価額は、厚生労働大臣が定めることとされています。このたび、厚生労働省告示により現物給与の価額が改正され、令和4年4月1日より適用されることとなりましたのでお知らせします。

この現物給与の価額の改正につきましては、被保険者の皆様にもお知らせいたさせていただきますようお願いします。

（単位：円）

都道府県名	食事で支払われる報酬等					住宅で支払われる報酬等 1人1カ月当たりの 住宅の利益の額 （量1量につき）	その他の 報酬等
	1人1カ月当たり の食事の額	1人1日当たり の食事の額	1人1日当たり 朝食のみの額	1人1日当たり 昼食のみの額	1人1日当たり 夕食のみの額		
北海道	22,500	750	190	260	300	1,110	
青森	21,900	730	180	260	290	1,040	
岩手	21,900	730	180	260	290	1,110	
宮城	21,900	730	180	260	290	1,520	
秋田	21,900	730	180	260	290	1,110	
山形	22,800	760	190	270	300	1,250	
福島	22,500	750	190	260	300	1,200	
茨城	21,900	730	180	260	290	1,340	
栃木	21,900	730	180	260	290	1,320	
群馬	21,600	720	180	250	290	1,280	
埼玉	22,200	740	190	260	290	1,810	
千葉	22,500	750	190	260	300	1,760	
東京	23,100	770	190	270	310	2,830	
神奈川	22,800	760	190	270	300	2,150	
新潟	22,200	740	190	260	290	1,360	
富山	22,500	750	190	260	300	1,290	
石川	23,100	770	190	270	310	1,340	
福井	23,700	790	200	280	310	1,220	
山梨	22,200	740	190	260	290	1,260	
長野	21,300	710	180	250	280	1,250	
岐阜	22,200	740	190	260	290	1,230	
静岡	22,200	740	190	260	290	1,460	
愛知	21,900	730	180	260	290	1,560	
三重	22,500	750	190	260	300	1,260	
滋賀	21,900	730	180	260	290	1,410	
京都	22,500	750	190	260	300	1,810	
大阪	22,200	740	190	260	290	1,780	
兵庫	22,200	740	190	260	290	1,580	
奈良	21,600	720	180	250	290	1,310	
和歌山	22,500	750	190	260	300	1,170	
鳥取	22,800	760	190	270	300	1,190	
島根	22,800	760	190	270	300	1,150	
岡山	22,500	750	190	260	300	1,360	
広島	22,500	750	190	260	300	1,410	
山口	22,800	760	190	270	300	1,140	
徳島	22,800	760	190	270	300	1,160	
香川	22,500	750	190	260	300	1,210	
愛媛	22,500	750	190	260	300	1,130	
高知	22,500	750	190	260	300	1,130	
福岡	21,600	720	180	250	290	1,430	
佐賀	21,900	730	180	260	290	1,170	
長崎	22,200	740	190	260	290	1,150	
熊本	22,500	750	190	260	300	1,150	
大分	22,200	740	190	260	290	1,170	
宮崎	21,600	720	180	250	290	1,080	
鹿児島	22,500	750	190	260	300	1,110	
沖縄	23,100	770	190	270	310	1,290	

時 価
自社製品
通勤定期券
など

※改正箇所は赤字・下線で表示しています。

- 住宅、食事以外の報酬等の価額については、労働協約に定めがある場合は、その価額を「時価」とします。
- 計算の結果、端数が生じた場合は1円未満を切り捨てます。
- 洋間など畳を敷いていない居住用の室については、1.65平方メートルを1畳に換算し計算します。
- 健保組合では、現物給与の価額について、規約により別段の定めをしている場合があります。

○令和2年9月分（10月納付分）からの厚生年金保険料額表（令和4年度版）

(単位：円)

標準報酬		報酬月額		一般・坑内員・船員 (厚生年金基金加入員を除く)	
等級	月額			全額	折半額
				18.300%	9.150%
1	88,000	円以上	円未満	16,104.00	8,052.00
2	98,000	93,000	101,000	17,934.00	8,967.00
3	104,000	101,000	107,000	19,032.00	9,516.00
4	110,000	107,000	114,000	20,130.00	10,065.00
5	118,000	114,000	122,000	21,594.00	10,797.00
6	126,000	122,000	130,000	23,058.00	11,529.00
7	134,000	130,000	138,000	24,522.00	12,261.00
8	142,000	138,000	146,000	25,986.00	12,993.00
9	150,000	146,000	155,000	27,450.00	13,725.00
10	160,000	155,000	165,000	29,280.00	14,640.00
11	170,000	165,000	175,000	31,110.00	15,555.00
12	180,000	175,000	185,000	32,940.00	16,470.00
13	190,000	185,000	195,000	34,770.00	17,385.00
14	200,000	195,000	210,000	36,600.00	18,300.00
15	220,000	210,000	230,000	40,260.00	20,130.00
16	240,000	230,000	250,000	43,920.00	21,960.00
17	260,000	250,000	270,000	47,580.00	23,790.00
18	280,000	270,000	290,000	51,240.00	25,620.00
19	300,000	290,000	310,000	54,900.00	27,450.00
20	320,000	310,000	330,000	58,560.00	29,280.00
21	340,000	330,000	350,000	62,220.00	31,110.00
22	360,000	350,000	370,000	65,880.00	32,940.00
23	380,000	370,000	395,000	69,540.00	34,770.00
24	410,000	395,000	425,000	75,030.00	37,515.00
25	440,000	425,000	455,000	80,520.00	40,260.00
26	470,000	455,000	485,000	86,010.00	43,005.00
27	500,000	485,000	515,000	91,500.00	45,750.00
28	530,000	515,000	545,000	96,990.00	48,495.00
29	560,000	545,000	575,000	102,480.00	51,240.00
30	590,000	575,000	605,000	107,970.00	53,985.00
31	620,000	605,000	635,000	113,460.00	56,730.00
32	650,000	635,000		118,950.00	59,475.00

○ 厚生年金保険料率（平成29年9月1日～ 適用）

一般・坑内員・船員の被保険者等 …18.300% （厚生年金基金加入員 …13.300%～15.900%）

○ 子ども・子育て拠出金率（令和4年4月1日～ 適用） …0.36%

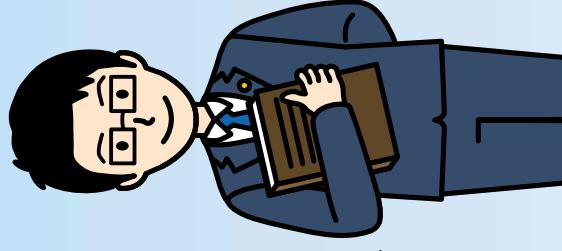
[参考]令和3年4月分～令和4年3月分までの期間は0.36%

※子ども・子育て拠出金については事業主が全額負担することとなります。

- 平成29年9月分（10月納付分）から、一般の被保険者と坑内員・船員の被保険者の方の厚生年金保険料率が同率となりました。
- 被保険者負担分（厚生年金保険料額表の折半額）に円未満の端数がある場合
 - ① 事業主が、給与から被保険者負担分を控除する場合、被保険者負担分の端数が50銭以下の場合には切り捨て、50銭を超える場合は切り上げて1円となります。
 - ② 被保険者が、被保険者負担分を事業主へ現金で支払う場合、被保険者負担分の端数が50銭未満の場合は切り捨て、50銭以上の場合は切り上げて1円となります。
- 納入告知書の保険料額について
納入告知書の保険料額は、被保険者個々の保険料額を合算した金額となります。ただし、その合算した金額に円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てた額となります。
- 賞与に係る保険料について
賞与に係る保険料は、賞与額から1,000円未満の端数を切り捨てた額（標準賞与額）に、保険料率を乗じた額になります。また、標準賞与額には上限が定められており、厚生年金保険と子ども・子育て拠出金は1ヶ月あたり150万円が上限となります。
- 子ども・子育て拠出金について
厚生年金保険の被保険者を使用する事業主の方は、児童手当等の支給に要する費用の一部として子ども・子育て拠出金を全額負担いただくこととなります。この子ども・子育て拠出金の額は、被保険者個々の厚生年金保険の標準報酬月額及び標準賞与額に拠出金率を乗じて得た額の総額となります。
- 全国健康保険協会管掌健康保険の都道府県別の保険料率については、全国健康保険協会の各都道府県支部にお問い合わせください。また、全国健康保険協会管掌健康保険の保険料率及び保険料額表は、全国健康保険協会から示されておりま。
- 健康保険組合における保険料額等については、加入する健康保険組合へお問い合わせください。

従業員数500人以下の 事業主のみなさまへ

法律改正により パート・アルバイトの 社会保険の加入条件が 変わります。



対象となる企業

現在
従業員数501人以上
の企業

2022年10月～
従業員数101人以上
の企業

2024年10月～
従業員数51人以上
の企業

従業員数は以下の **A + B** の合計「現在の厚生年金保険の適用対象者」

A
フルタイムの
従業員数

+

B
週労働時間がフルタイムの
3/4以上の従業員数

※従業員には、パート・アルバイトを含みます。

詳しくは、裏面や特設サイトをご覧ください。



適用拡大特設サイト

<https://www.mhlw.go.jp/tekiyokukakudai/index.html>



新たな加入対象者

新たな加入対象者は、
右の全てにチェックが入った
パート・アルバイトの方です。

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| check <input type="checkbox"/> | 週の所定労働時間が20時間以上 |
| check <input type="checkbox"/> | 月額賃金が8.8万円以上 |
| check <input type="checkbox"/> | 2ヶ月を超える雇用の見込みがある |
| check <input type="checkbox"/> | 学生ではない |

社会保険に加入するメリット

パート・アルバイトの方が**社会保険**(厚生年金・健康保険)に加入することにより、
社会保険料のご負担が変わりますが、
パート・アルバイトの方の**保障が充実します。**

年金

老後・障害・死亡の保障が
さらに**充実!**

- 1階(基礎年金部分)に加えて2階(報酬比例部分)の上乗せ。
- より軽い障害にも保障範囲が広がります。

医療保険

あんしんの医療保険が**もっと充実!**

- 傷病手当金 病休期間中、給与の2/3相当を支給
- 出産手当金 産休期間中、給与の2/3相当を支給

社内準備のステップは4つ!

① 加入対象者の把握

まずは、社内の加入対象者を把握しましょう。



「適用拡大の手続き」に関するご案内

<https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/tekiyokakudai.html>



オンライン申請に関するご案内

<https://www.nenkin.go.jp/denshibenri/index.html>

③ 従業員とのコミュニケーション

必要に応じて説明会や個人面談を実施しましょう。

④ 書類の作成・届出(オンライン)

厚生年金保険の「被保険者資格取得届」をオンラインで届け出ましょう。

支援制度のご案内



キャリアアップ助成金 ご案内

- 短時間労働者労働時間延長コース
- 選択的適用拡大導入時処遇改善コース
- 正社員化コース

申請は

都道府県労働局 ハローワーク

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/part_haken/jigyounushi/career.html



専門家活用支援事業 ご案内

適用拡大に関するノウハウ豊かな社会保険労務士を無料で派遣します。適用拡大への対応方針の検討、従業員への説明のサポート、手続きに関するアドバイスなど気軽に相談いただけます。



詳しくは
適用拡大特設サイト

<https://www.mhlw.go.jp/tekiyokakudai/index.html>

